

役員所感

副理事長 小谷 茂

上越市の最高の資源とは何でしょうか。多くの平野を有し海山に囲まれたこの大自然に育まれてきた我々市民の豊かな心ではないでしょうか。しかし現在では、個人主義や拝金主義の蔓延が都市部だけに留まらず、上越にもその足音が響いているように感じます。我々はJAYCEEとして、このまちの明るい豊かな未来を語るためにも、全ての市民の指標ともいえる人財に成長を遂げていかなければ、明るい未来を切り拓くことは叶いません。

昨今の人口流出による人財不足は、この上越においても顕著に表れ、我々上越青年会議所でも喫緊の課題となっています。しかし、ただ単に頭数が揃えば良いという事ではありません。一人ひとりが、このまちを牽引できるリーダーとしての資質を身に付けていかなければなりません。ではリーダーとは、どのような人物であるのか。現在、日本JCの顧問を務められている田坂広志氏の講和の中に『良きリーダーの条件とは、自分自身が成長すること、成長し続けること、成長したいと願い続けること』と、話された一説があります。この度、副理事長という大役を仰せつかり、また私自身、青年会議所に身を置き12年目を迎え、LOM内では最も在籍年数が長いことを再度自覚し、これまでJCでの学びは本より自分自身を振り返る良い機会を頂いたと真摯に受止めております。私自身、若い世代を中心とした次世代を担う全ての会員の手本となるJAYCEEであり続けなければなりません。地域から、これまでに以上の負託と信頼を寄せられる団体へと成長を遂げるためにも、全ての会員と共に切磋琢磨し互いを高め合い、共に成長し続けて参る所存です。

人は一人では生きてゆけず、人とのつながりの中でしか成長を迎えることはありません。人は歩みを止めたとき、それが意味で人としての終焉なのではないでしょうか。我々が確かな歩みを重ね、邁進することこそが、上越の明るい未来を切り拓くと確信します。